

各会派から提出された議員定数に係る意見

会派名	定数を削減する理由	削減後の定数
いばらき 自民党	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2人減することにより，議員1人当たりの人口が，現在の4万5689人から4万7139人になり，全国平均の4万6856人を上回ることになる。 ・ 定数2人減に併せて，議員報酬を12%カット（5人分相当）し，経費削減効果を7人分に相当するものとする。 	63 (報酬カット 込み58)
民主党	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県議会として議会改革への真摯な姿勢を示すために，二元代表制のもと多様な県民の声の反映と較差是正に基づいた選挙区による定数としたため。 	56
自民県政 クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村長，市町村議会，各種団体からも県民の声として，定数削減の意見・要望が強くある。 ・ 県民の多様な意見・要望を反映するには，一定の議員定数が望まれる。 ・ 厳しい本県の財政状況を勘案しながらも，あるべき議会・議員活動を見定めねばならない。 ・ よって，二律背反的な側面もあるが，適正な議員定数は60と考える。 	60
公明党	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各都道府県議会の現状を見ると茨城県の65の議員定数は適正なものと判断する。 ・ ただし，多額な県債残高を持つ茨城県が行政改革の歩みを進める上で議会が強い意志を示す必要はあり，定数の削減という決断も重要だと判断する。 ・ さらに，情報化や交通網の整備により，一定の定数の削減を行っても，県民の意思を県政に反映させることは可能である。 ・ 人口と議員定数との関連では人口5万人当たり1人の議員が妥当ではないかと考える。 ・ 県民並びに有識者の意見を伺う中でも，50 	59

会派名	定数を削減する理由	削減後の定数
	<p>人台の定数を妥当と考える方のご意見が多いと認識している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公明党は、議員定数と選挙区割りは一体不可分であるという考え方から、定数59人に対する、選挙区割り案を3案提出する。 	
みんなの党	<ul style="list-style-type: none"> 民間が苦しんでいる中、国でも較差是正や定数削減の議論が進んでいる。県議会も当然進めるべき。大きな行革を断行するには、まずは議員自らが身を切る覚悟が不可欠。千葉県が約65,000人に1人。それを上回る改革を行うため、約70,000人に1人の42名への大幅削減を行うべき。 	42
日本共産党	<ul style="list-style-type: none"> 議員1人当たりの人口は、全国的に見ても11番目で多い方である。県民の多様な意見の反映という観点からこれ以上減らすべきではない。 	65
無所属		
戸井田 和之議員	<ul style="list-style-type: none"> 人口約5万人当たり議員1人が妥当と考える。 	60
細谷典男 議員	<ul style="list-style-type: none"> 行財政改革の一環として、議会においては3割削減が妥当と考える。 	45
大谷 明 議員	<ul style="list-style-type: none"> 議員定数削減に関して、各方面からの要請は依然として根強い。人口減少社会の流れからも、議会として議員定数削減の方向を打ち出す必要性を感じている。その上で、平成22年国勢調査人口において5万人当たり1議員を基本的な考え方として、総数59～60人を想定したものである。なお、議員定数は議員のあり方も合わせて検討する必要がある。議員数削減に当たっては、議員当たりの活動の充実等を図る方策も考えるべき。 	59 ～ 60